

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|-----------------|--------|--------------|-----------|--------------|
| 団体名 | 島根県 | | | 代表者名 | 丸山 達也 |
| 担当者部署(属性) | 企画担当 | 担当者部署名 | 地域政策課デジタル戦略室 | 連絡先電話番号 | 0852-22-5659 |
| 担当者役職 | 課長補佐 | 担当者氏名 | 吉田直哉 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 6908501 島根県松江市1 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | |
|-------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | |
| | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | |
|----------|--|-----|----------------|
| 支援方法 | 具体的課題への支援 | 事業名 | 島根県ICT総合戦略改定事業 |
| 概要 | 島根県ICT総合戦略の改定を行うにあたり、全般的に意見をいただく。 特に、大島氏についてはデータ駆動型社会を見据えた、計画の方向性などについて意見をいただく。 | | |
| 支援を求める分野 | 計画策定支援 オープンデータ | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|----------------|---------------|-------------------|-----------|---------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 有 | 785 | 令和8年1月20日 | 支援・助言&フォローアップ | オンライン |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和8年2月27日 | 支援・助言&フォローアップ(実地) | 13時30分 | 15時30分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 120 |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | オンライン | | 最寄駅 | オンライン |
| | 所在地 | オンライン | | 最寄駅からの交通手段 | オンライン |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 大島 正美 |
| 評価 | 大変良い |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 官民連携の取組事例紹介や、歴史をデジタルとして残すことが、魅力や価値の再発見につながることもあるといった、非常に有益な意見をいただいた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 引き続き、いろいろな角度からの意見を頂戴したい。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | | |
|--|-------------------------|---|------|-----------|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | | 合計人数 | 7人 |
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 |
| | 人数 | 7 | | その他(学生など) |
| 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | | 次期のICT・デジタルに関する計画の策定について、現計画の内容が陳腐化していることと、計画期間を見据えた内容の不足 | | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | | 専門的な知見からの現状分析や将来展望を次期計画に反映 | | |

| | | |
|---|---|---|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 会議に出席いただき、データを活用について、データ単体でなく技術や手法を複合的に組み合わせることが有効であるとの意見をいただいた。 また、広島県での実施例を参考に、官民連携の取組や、歴史をデジタルとして残すことが、魅力や価値の再発見につながることもあり、デジタルになっていないものを発見・活用する視点が必要であると、意見をいただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | (次年度も支援を受けることが前提ではあるが) 現計画で足りない各部門同士での関連性等を次期計画に反映し、より実効性が高まることとなるデジタルで残す取組や、民間での取組支援など、各部門で検討することとなる | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| | 次期計画 | |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | R8年度末までに、段階を追って内容を議論しながら作成していくものであり、1～2回で成果品ができる類の事業ではない | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。) | |
| | アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを実施する類の事業ではない | |
| 4－3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| | 今年度・次年度の2ヶ年で計画を完成させる | |
| 4－4. 事業の最終的な目指す姿 | 計画内容が各部門で作成する施策に反映されることにより実効性が高まり、施策の恩恵が県民にきちんと届く | |
| 5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 | | |
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/ |
| なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください | | |
| 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 | | |
| 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。 | | |
| | | |